

学際共創ハブとしての

身体圏

身体運動・体内環境・ELSIから総合知を考える



Society 5.0の進展により現実と仮想が融合する世界で、健康やQOLの向上(=ウェルビーイング)が重要な課題となっています。その課題に対応するため、立命館大学はスポーツ健康科学を核とした新たな研究領域「身体圏研究」を創成します。この研究では、身体と各種環境(加齢・栄養などの身体内部、社会、現実・バーチャル)との関係が人の心身にどのような影響を与え、ウェルビーイングにどのように繋がるかを総合知ならびに学際共創から探究します。

第1回では新たな研究領域(身体圏研究)の定義と具体的な社会像について、自然科学、人文社会科学双方の側面から明らかにしました。第2回となります本シンポジウムでは身体運動・体内環境・ELSIの観点から身体圏研究について専門家の知見をもとに更に深めてまいります。

BKC開設30周年記念事業として全4回のシリーズで開催します。多くの関係者の皆さまのご参加をお待ちしております。

第2回

6/26 WEDNESDAY 開場 13:00
13:30-17:20

会場

- 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
ローム記念館 5F 大会議室
JR南草津駅よりバスで約30分
- オンライン同時配信

参加申込(無料)



<https://bit.ly/spo240626>

共催 立命館大学スポーツ健康科学総合研究所
立命館先進研究アカデミー(RARA)
協力 アクティブライフ共創コンソーシアム



お問い合わせ先

立命館大学 スポーツ健康科学総合研究所 事務局

☎ 077-561-2802 ✉ spo-ins@st.ritsume.ac.jp

身体圏研究の拠点として、国内最大級のVRアリーナなど最先端の研究設備を備えた「立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ(CVIC)」を文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」の補助金を受けてBKCに新設します(2025年3月竣工予定)。



BKC開設30周年記念企画 身体圏研究連続シンポジウム

学際共創ハブとしての 身体圏

身体運動・体内環境・ELSIから総合知を考える



13:30 **開会挨拶**

伊坂 忠夫 | 立命館大学 副学長／スポーツ健康科学総合研究所 所長

13:35 **講演1 運動と栄養摂取による筋肉量の調節:加齢の影響**

Philip Atherton | ノッティンガム大学 教授／立命館大学 総合科学技術研究機構 客員教授・RARAフェロー
藤田 聡 | 立命館大学 スポーツ健康科学部 教授・RARAアソシエイトフェロー

14:55 **休憩**

15:05 **講演2 草津市民の疫学研究SESSAから見た身体圏研究の展開**

三浦 克之 氏 | 滋賀医科大学 医学部 教授／NCD疫学研究センター センター長

15:35 **講演3 技術活用を進めるためのPIAを核としたガバナンス構築**

山下 大介 氏 | 株式会社プライバシーテック 代表取締役

16:05 **休憩**

16:15 **パネルディスカッション**

ショートプレゼンテーション

Lailani Alcantara | 立命館アジア太平洋大学 教授／インクルーシブ・リーダーシップセンター(CIL)実施責任者

パネリスト: Philip Atherton／藤田 聡／三浦 克之 氏／山下 大介 氏／Lailani Alcantara

モデレーター: 定藤 規弘 | 立命館大学 総合科学技術研究機構 教授
RARAフェロー／生理学研究所 教授

17:15 **閉会挨拶**

荒井 秀典 | 立命館大学 総合科学技術研究機構 教授・RARAフェロー
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長

立命館大学
びわこ・くさつキャンパス
滋賀県草津市野路東1丁目1-1

JR琵琶湖線「南草津駅」から
近江鉄道バス「立命館大学行き」で約30分

ローム記念館
5F 大会議室

バス停

立命館先端クロスパス
イノベーション commons
(CVIC)建設予定地

正門